

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
1 情報リテラシー	SEの経験を踏まえ、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピュータの活用を教える	秋葉 広人	秋葉 広人 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
2 心理学	臨床経験を踏まえ、人の心の基本的な仕組みについて教授する。	大坪 純子	大坪 純子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
3 法と暮らし	弁護士の経験を踏まえ、法と暮らしの結びつきについて概説する。	増井喜久士	増井喜久士 ※	1	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
4 病理学	臨床経験を踏まえ、病気の原因や病気の成り立ちについて概説する。	伊藤 由美	伊藤 由美 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
5 臨床病理学Ⅰ	臨床医としての経験を踏まえ、消化器疾患、呼吸器疾患の成り立ちや症状、検査、治療について概説する。	高田 俊範	須田 剛士 ※ 高田 俊範 ※ 外部講師	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
6 臨床病理学Ⅱ	臨床医としての経験を踏まえ、循環器疾患、血液・造血管疾患の成り立ちや症状、検査、治療について概説する。	加藤 公則	加藤 公則 ※ 関 義信 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
7 臨床病理学Ⅲ	臨床医としての経験を踏まえ、脳神経疾患の成り立ちや症状、検査、治療について概説する。	福田 修	福田 修 ※ 外部講師	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
8 臨床病理学Ⅳ	臨床医としての経験を踏まえ、免疫・アレルギー疾患の成り立ちや症状、検査、治療について概説する。	岡田 純	岡田 純 ※ 外部講師	2	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
9 臨床病理学Ⅵ	臨床医としての経験を踏まえ、周手術期の基本的処置、麻酔を中心とした知識について概説する。	福田 修	福田 修 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
10 リハビリテーション	臨床経験を踏まえ、リハビリテーションの概念、具体的な理論と技術について教授する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 誠 ※ 村上 健 ※	2	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
11 保健医療福祉行政論Ⅰ	市町村での現場経験を踏まえ、保健医療福祉行政の基礎となる理念、仕組み、財政、社会保障制度の概要について概説する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
12 保健医療福祉行政論Ⅱ	保健所での現場経験を踏まえ、保健医療福祉行政の変遷、及び、主要な保健医療福祉制度を概説する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
13 保健医療福祉行政論演習	市町村での現場経験を踏まえ、地域診断のプロセスとその方法について実習地域の既存資料を用いて演習を行う。	原澤由美子	原澤由美子 ※ 佐藤美恵子 ※ 駒形恵理子 ※ 篠田 浩子 ※ 池田 由貴 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
14 関係法規	保健所での現場経験を踏まえ、衛生法規の概要と看護法、及び、看護職の法的責任について概説する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
15 看護学概論Ⅰ	対象である人間の総合的な理解が深まるよう、臨床経験を基に健康・生活・環境の視点で教授する。	星 翔子	星 翔子 ※ 野上 聡子 ※ 岡本 亜希 ※ 鹿島ゆかり ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
16 看護学概論Ⅱ	専門職業人としての態度・責任・自律性について、臨床経験を踏まえて教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※ 鹿島ゆかり ※ 木竜理恵子 ※ 野上 聡子 ※ 星 翔子 ※	2	後期	1 単位	15 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
17 基礎看護学方法論Ⅰ-1	臨床経験を踏まえ、生活環境の意義・病床環境の整備について教授する。また、看護職としての意図的なコミュニケーションについても教授する。	星 翔子	星 翔子 ※ 藤田 勇 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
18 基礎看護学方法論Ⅰ-2	臨床経験を踏まえ、感染予防、バイタルサイン、身体の測定の方法を教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
19 基礎看護学方法論Ⅰ-3	臨床経験を踏まえ、活動・運動の意義、休息・睡眠の意義及び運動機能が低下した対象に合わせた、安楽な休息・睡眠を促す方法を教授する。	星 翔子	星 翔子 ※ 井口久仁子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
20 基礎看護学方法論Ⅰ-4	臨床経験を踏まえ、食事介助の意義、排泄の意義及び食事介助の実際や経管栄養、排泄障害のある対象に合わせた援助の方法を教授する。	鹿島ゆかり	鹿島ゆかり ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
21 基礎看護学方法論Ⅰ-5	臨床経験を踏まえ、衣生活・清潔の意義及び対象の状態に合わせた衣生活・清潔の援助を教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
22 基礎看護学方法論Ⅱ	臨床経験を踏まえ、与薬の意義及び与薬の方法・実際について教授する。	木竜理恵子	木竜理恵子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
23 基礎看護学方法論Ⅲ	臨床経験を踏まえ、採血の目的・方法・実際について教授する。1年次のバイタルサインを発展させ、基本的な器官系統についてフィジカルアセスメントの実際を教授する。また、尿検査、血液検査及び生化学検査の目的・方法・実際について教授する。	星 翔子	星 翔子 ※ 小菅 優子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
24 基礎看護学方法論Ⅳ	臨床経験を踏まえ、基礎的な看護の展開について教授する。	野上 聡子	野上 聡子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
25 成人看護学概論	病院での臨床経験を踏まえ、成人期にある人の特徴と、健康段階に応じた看護について概説する。	佐藤 幸子	佐藤 幸子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
26 成人看護学方法論Ⅰ	循環・呼吸・内部環境調節機能に障害を持つ対象への看護がどのように展開されているのかを病院での臨床経験を踏まえて教授する。	岩谷 正美	岩谷 正美 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
27 成人看護学方法論Ⅱ	慢性疾患を持つ対象の看護の展開について、病院での臨床経験を踏まえて教授する。	木竜理恵子	木竜理恵子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
28 成人看護学方法論Ⅲ	高次脳機能障害、運動・感覚機能障害、免疫機能に障害を持つ対象への看護がどのように展開されているのかを病院での臨床経験を踏まえて教授する。	岩谷 正美	岩谷 正美 ※ 外部講師	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
29 成人看護学方法論Ⅳ	手術療法を受ける対象と、栄養摂取・代謝及び排泄機能に障害を持つ対象への看護がどのように展開されているのか、病院での臨床経験を踏まえて教授する。	木竜理恵子	木竜理恵子 ※ 外部講師	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
30 老年看護学概論Ⅰ	高齢者看護を実践する病院での臨床経験を踏まえ、老年期の意義及び実際の高齢者看護がどのように展開されるのかを概説する。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
31 老年看護学概論Ⅱ	高齢者看護を実践する病院での臨床経験を踏まえ、高齢者の生活機能についてICFの視点から高齢者看護の展開を概説する。	佐藤 純子	佐藤 純子 ※ 池田 由貴 ※ 外部講師	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
32 老年看護学方法論Ⅰ	高齢者看護を実践する病院での臨床経験を踏まえ、高齢者特有の健康問題・障害に応じた看護の実際について、専門知識を踏まえ高齢者看護の展開を概説する。	佐藤 純子	佐藤 純子 ※ 外部講師	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
33 老年看護学方法論Ⅱ	高齢者看護を実践する病院での臨床経験を踏まえ、高齢者特有の健康問題・障害の改善と自立に向けた、高齢者看護の展開を概説する。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※ 佐藤 純子 ※ 外部講師	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
34 小児看護学概論	看護師の臨床経験をふまえ、小児看護の理念と役割、子どもの成長・発達について講義する。	櫻井 照美	櫻井 照美 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
35 小児看護学方法論Ⅰ	病院での臨床経験をふまえ、子どもの主な疾患について講義する。	鈴木 博	鈴木 博 ※ 大谷 尚也 ※ 外部講師	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
36 小児看護学方法論Ⅱ	看護師としての臨床経験をふまえ、子ども各期の健康生活と看護、子どもをめぐる法律と政策について講義する。	櫻井 照美	櫻井 照美 ※	2	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
37 小児看護学方法論Ⅲ	看護師としての臨床経験をふまえ、健康障害のある子どもと家族への看護を講義する。(急性期、慢性期、終末期の子どもと家族・プリパレーション等)	櫻井 照美	櫻井 照美 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
38 小児看護学方法論Ⅳ	看護師としての臨床経験をふまえ、健康障害のある子どもと家族への看護を講義する。(救急処置・検査・先天的問題や障害のある子どもと家族・手術を受ける子どもと家族・看護過程)	櫻井 照美	櫻井 照美 ※ 外部講師	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
39 母性看護学概論	助産師として病院での臨床経験を踏まえ、対象がおかれている現状を理解し、母性看護の意義について講義する。	明地由紀子	明地由紀子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
40 母性看護学方法論Ⅰ	助産師として病院での臨床経験を踏まえ、思春期から更年期の特徴と健康課題について講義する。	明地由紀子	明地由紀子 ※ 外部講師	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
41 母性看護学方法論Ⅱ	助産師として病院での臨床経験を踏まえ、妊娠期から分娩期の経過と正常に経過するための支援について講義する。	明地由紀子	明地由紀子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
42 母性看護学方法論Ⅲ	助産師として病院での臨床経験を踏まえ、褥婦及び新生児の生理的变化とその支援について講義する。	明地由紀子	明地由紀子 ※ 外部講師	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
43 精神看護学概論Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえて、看護師の役割や倫理的な配慮について教授していく。	藤田 勇	藤田 勇 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
44 精神看護学概論Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえて、心の健康と心の働きについて、精神障害者を捉える視点を教授していく。	藤田 勇	藤田 勇 ※	2	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
45 精神看護学方法論Ⅱ	臨床経験を踏まえて精神障害者の看護及び援助的関係、援助技術について具体的に教授する。	藤田 勇	藤田 勇 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
46 在宅看護概論	訪問看護ステーションでの現場経験を踏まえ、在宅看護の目的と制度について概説する。	野上 聡子	野上 聡子 阿部 郁子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
47 在宅看護対象論	訪問看護ステーションでの現場経験を踏まえ、在宅看護の対象である在宅療養者と家族の特性と現代的課題、及び、支援方法を概説する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※	2	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
48 在宅看護方法論Ⅰ	訪問看護ステーションでの現場経験を踏まえ、在宅ケアマネジメントの概念・社会資源、及び、訪問看護制度を概説する。	野上 聡子	野上 聡子 岡本 亜希 三宅 久枝 ※ 外部講師	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
49 在宅看護方法論Ⅱ	訪問看護ステーションや地域での在宅療養サポートの経験を踏まえ、医療依存度の高い対象の在宅療養支援の方法および在宅における看護過程の展開方法を概説する。	野上 聡子	野上 聡子 岡本 亜希 三宅 久枝 ※ 岩谷 正美 桜井 照美	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
50 公衆衛生看護学概論Ⅰ	市町村での現場経験を踏まえて、公衆衛生看護の理念・目的、基盤となる概念、対象と活動の場、社会環境の変化と健康課題および歴史について概説する。	佐藤美恵子	佐藤美恵子 ※	2	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
51 公衆衛生看護学概論Ⅱ	市町村での現場経験を踏まえ、公衆衛生看護の活動形態と活動技法、その活用の実際を概説する。	駒形恵理子	駒形恵理子 ※	2	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
52 公衆衛生看護学方法論Ⅰ (保健指導)	市町村での現場経験を踏まえて、行動変容に関する理論と健康課題を解決するための支援技術である保健指導について概説する。	佐藤美恵子	佐藤美恵子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
53 公衆衛生看護学方法論Ⅱ (ライフステージと保健活動)	市町村での現場経験を踏まえ、各ライフステージの健康課題を解決するための公衆衛生看護活動について概説する。	池田 由貴	池田 由貴 ※ 明地由紀子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
54 公衆衛生看護学方法論Ⅲ (健康課題と保健活動)	市町村での現場経験を踏まえ、健康課題別の保健福祉サービスの諸制度とその中で機能する公衆衛生看護活動の実際について概説する。	池田 由貴	池田 由貴 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
55 公衆衛生看護学方法論Ⅳ (健康教育とグループ・地区組織活動)	市町村での現場経験を踏まえ、健康教育の基本的な考え方と展開技術について概説する。また、健康課題を主体的・組織的に解決するグループ・地区組織活動の育成・支援について概説する。	佐藤美恵子	佐藤美恵子 ※ 篠田 浩子 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
56 公衆衛生看護学方法論V (健康教育演習)	市町村での現場経験を踏まえ、健康教育の一連の過程について演習を行う。	佐藤美恵子	佐藤美恵子 ※ 原澤由美子 ※ 駒形恵理子 ※ 篠田 浩子 ※ 池田 由貴 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	演習
57 公衆衛生看護学方法論VI (地域診断)	市町村での現場経験を踏まえ、地域診断の基本的な考え方と展開方法について概説する。	原澤由美子	原澤由美子 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
58 公衆衛生看護学方法論VII (健康相談・家庭訪問)	市町村での現場経験を踏まえ、公衆衛生看護で行われる個別支援の方法と展開過程について概説する。	駒形恵理子	駒形恵理子 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
59 公衆衛生看護学方法論VIII (家庭訪問演習)	市町村での現場経験を踏まえ、公衆衛生看護で行われる家庭訪問の技術と展開方法について、実際の訪問場面を想定した演習を行う。	駒形恵理子	駒形恵理子 ※ 原澤由美子 ※ 佐藤美恵子 ※ 篠田 浩子 ※ 池田 由貴 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
60 公衆衛生看護学方法論IX	企業における産業保健師の現場経験を踏まえて、産業保健の活動体制や活動の実際を概説する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※ 外部講師	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
61 公衆衛生看護学方法論X (公衆衛生看護活動の展開)	市町村での現場経験を踏まえ、PDCAサイクルによる公衆衛生看護活動の展開、保健医療福祉における事業計画策定プロセス、政策形成について概説する。	佐藤美恵子	佐藤美恵子 ※ 原澤由美子 ※ 駒形恵理子 ※ 篠田 浩子 ※ 池田 由貴 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
62 公衆衛生看護学方法論XI (地域ケアシステム)	市町村での現場経験を踏まえて、様々なグループ・組織、機関が連携・協働する地域ケアシステムの構築、ネットワーク化について概説する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
63 公衆衛生看護学方法論XII (健康危機管理・公衆衛生看護管理)	市町村での現場経験を踏まえて、公衆衛生看護における管理的な活動や機能について概説する。また、健康危機管理の基本、健康危機の事前、発生時、回復期の対応について概説する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※ 外部講師	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
64 医療安全	臨床現場での経験を踏まえ医療現場に潜在するリスクと事故防止策について概説するとともに演習のファシリテートをする。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
65 チーム医療論	臨床現場での実務経験を踏まえ、チーム医療の必要性と意義や実際のチーム医療がどのように行われているか概説する。	鹿島ゆかり	鹿島ゆかり ※ 岩谷 正美 ※	3	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
66 チーム医療演習	病院での実務経験を踏まえ、多職種を目指す学生同士がチームになり事例検討を進める演習をファシリテートする。	岩谷 正美	岩谷 正美 ※	4	前期	1 単位	15 時間	必修	演習
67 看護管理・国際看護	臨床現場の経験を踏まえ、看護実践に必要な組織的な管理・運営の基礎を概説する。	渡辺しき子	渡辺しき子 ※ 外部講師	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
68 総合看護技術	臨床現場の経験を踏まえ、一場面の看護技術の提供において各領域の知識を統合し実践に結び付ける演習をファシリテートする。	野上 聡子	野上 聡子 ※ 南雲 陽子 ※	4	前期	1 単位	30 単位	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
69 看護研究Ⅰ	臨床現場での経験を踏まえ、研究の意義、研究の方法、研究倫理など、研究を実施するための基礎的知識について概説する。	渡辺しき子	渡辺しき子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
70 看護研究Ⅱ	臨床現場での経験を踏まえ、看護実践上の問題解決に向けて、研究成果を活用する方法を学ぶ演習をファシリテートする。	渡辺しき子	渡辺しき子 ※	3	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
合計						70 単位	1,740 時間		

行は適宜追加してください。
シラバスの関連項目と記載を一致させてください。